



神奈川県足柄下郡真鶴町 真鶴町国保診療所
神奈川35期 貝原正樹

真鶴町



真鶴町は神奈川県南西部に位置しており、面積は7km²で、神奈川県内で2番目に小さい港町である。

JR東海道線が通っており、線を境界にした北側は住宅整備が進んでおり、最近では移住者も増えている。駅から離れて奥地になると湯河原町や小田原市に接して森林に覆われる自然環境保全地域になっている。南側は、相模湾に向かって南東に傾斜した勾配地に真鶴地区と岩地区の街並みが広がり、永きにわたって港の町の歴史を培っている。

1年を通じて温暖な気候で、住む人に優しく、起伏に富んだ優美な真鶴を地中海の景勝地にも勝るとして、かつての文化人は東洋のリヴェイラと称えた。



真鶴町国保診療所

年	月	
昭和21年		真鶴町国保診療所 診療開始
平成11年	7月	現在の施設に移転
平成18年	3月	入院休止
平成23年	4月	常勤医の不在が続き、地域医療振興協会に医師派遣要請
平成25年	8月	地域医療振興協会による指定管理開始
平成29年	4月	常勤医2人に増員(自治医大8期 濱田俊之 35期 貝原正樹)
平成29年	7月	作業療法士1人増員

【スタッフ】

医師:2名 看護師:3名 作業療法士:1名 放射線技師:1名 事務員:5名

【診療時間】

平日:9時~17時 土曜日:9時~12時 日曜日・祝日(輪番制):9時~16時

【1日外来平均患者数】

50~60名

【訪問診療・訪問リハビリテーション】

訪問診療(個人宅:7名 施設:6名) 訪問リハビリテーション(個人宅11名)

【標榜科】

内科、外科、小児科、整形外科(基本的には全科対応)

【検査設備】

超音波検査、レントゲン検査、骨密度検査、上部・下部内視鏡検査



診療室(電子カルテ導入)



処置室(兼採血室、牽引器もあり)



レントゲン検査(透視検査も可能)



心電図検査、骨密度検査



超音波検査(腹部・心臓・表在)

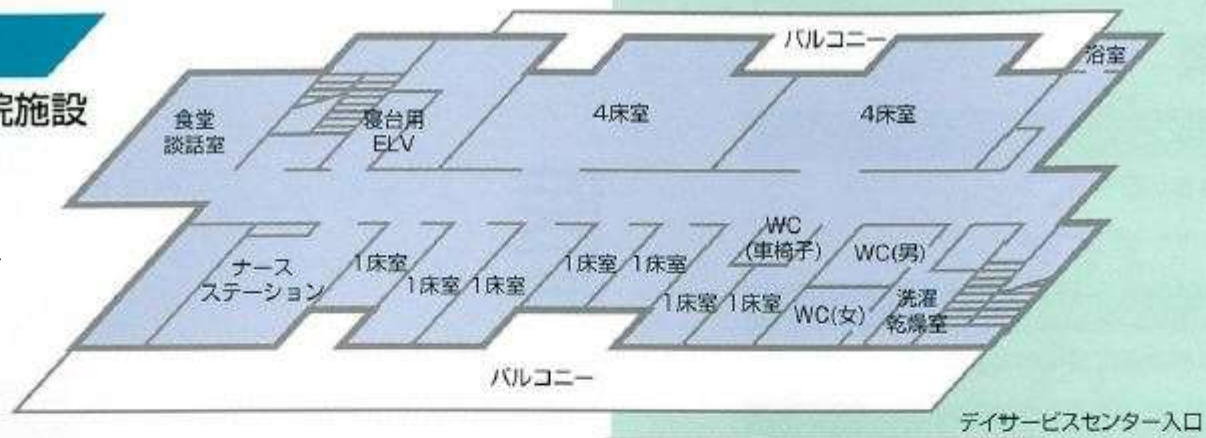


内視鏡検査(上部・下部)



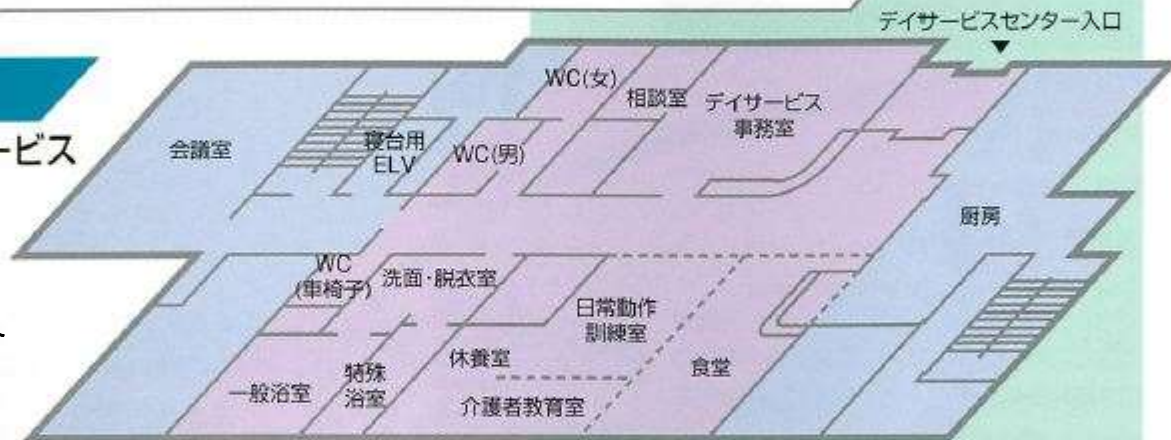
3階の入院施設は閉鎖中
町の検診やリハビリ目的に開放中

3階
診療所入院施設



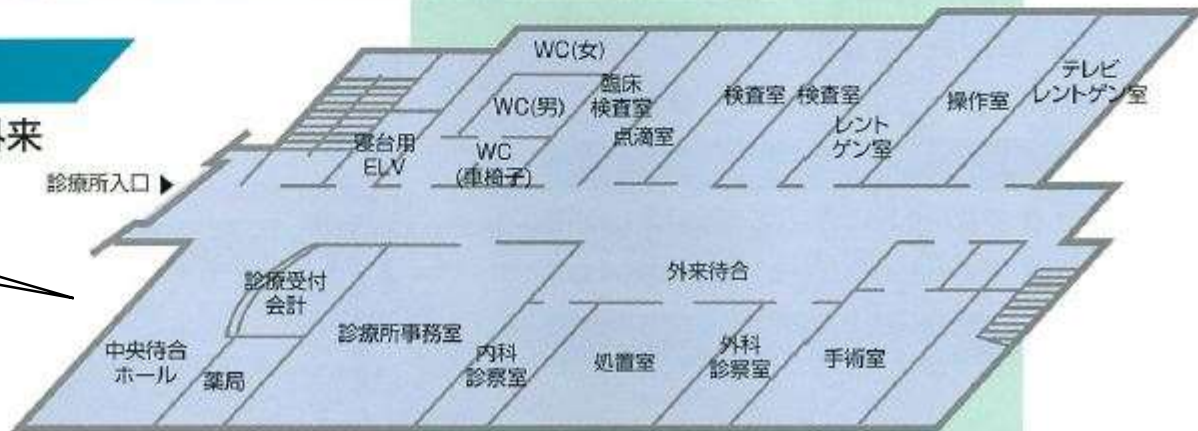
2階に真鶴町社会福祉協議会運営の
デイサービスセンターが併設

2階
老人デイサービスセンター



基本的に1階が診療スペースとなっている

1階
診療所外来



近隣医療機関(入院医療機関)



	病院名称	病床数
小田原市	小田原市立病院	一般:417
	曾我病院	精神:399
	小澤病院	一般:202
	小林病院	一般:103、療養:60
	山近記念総合病院	一般:152
	西湘病院	一般:45、療養:57
	小田原循環器病院	一般:97
	間中病院	一般:90
	丹羽病院	一般:90
湯河原町	JCHO湯河原病院	一般:244
	湯河原中央温泉病院	療養:345
	湯河原胃腸病院	一般:58、療養:50
熱海市	国際医療福祉大学熱海病院	一般:234、療養:31、感染:4
	熱海所記念病院	一般:144
	熱海海見える病院	一般:40、療養:72

近隣介護事業所(通所サービス)



● デイサービス(通所介護)

- ・ 真鶴 3
- ・ 湯河原 15

● デイケア(通所リハビリテーション)

- ・ 真鶴 0
- ・ 湯河原 2

近隣介護事業所(入所サービス)



市町村	施設種類	施設名称	定員
真鶴	グループホーム	みんなの家 真鶴	18
真鶴	小規模多機能	ミモザ白寿庵真鶴	9
真鶴	小規模多機能	真鶴ケアステーションアリス	3
湯河原	グループホーム	ツクイ湯河原	18
湯河原	認知症対応型 共同生活介護	ミモザ湯河原温々	18
湯河原	小規模多機能	多機能倶楽部千歳川	30
湯河原	介護療養型 医療施設	湯河原胃腸病院	48
湯河原	介護療養型 医療施設	湯河原中央温泉病院	66
湯河原	特養	シーサイド湯河原	80
湯河原	特養	湯河原老人ホーム	100
湯河原	老健	ニューライフ湯河原	100

近隣介護事業所(特定施設)



市町村	施設種類	施設名称	定員
真鶴	介護付有料老人ホーム	すこや家真鶴	40
真鶴	介護付有料老人ホーム	らいふ真鶴	78
湯河原	サービス付き高齢者向け住宅	らいふ湯河原	69
湯河原	サービス付き高齢者向け住宅	らいふ湘南かねか湯河原	60
湯河原	有料老人ホーム	湯河原ゆうゆうの里	369
湯河原	有料老人ホーム	ミモザ湯河原	36

近隣介護事業所(訪問サービス)



市町村	施設種類	施設名称
湯河原	訪問看護・訪問リハビリ	JCHO湯河原病院
湯河原	訪問リハビリ	ニューライフ湯河原
湯河原	訪問看護	花菜訪問看護ステーション
湯河原	訪問入浴	株式会社ティーシーエス
湯河原	訪問介護	事業所(8)

地域福祉計画策定までの経緯

- 神奈川県において高齢化が最も進んでいる真鶴町において、いわゆる「家」に住むのではなく、「町」に住むという発想の元、認知症や障害等様々な課題があったとしても、地域で孤立せず最後まで安心して暮らせる地域づくりに取り組む。
- 生活支援と医療・介護支援を両輪として、町、社会福祉協議会、国保診療所が相互に連携・協力していくための「真鶴町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を三位一体計画として策定した。



真鶴町が過疎地域指定に

- 真鶴町の人口は清川村に次ぎ県内で2番目に少なく(7504人)、65歳以上の高齢者が40%近くで、県内最高の高齢化率となっている(2番目は隣の湯河原町)。
- 昭和30年以降、日本経済の高度成長の中で農山漁村地域では人口の減少により、教育、医療、防災等の基礎的な生活条件の確保にも支障をきたして、産業の担い手不足等により地域の生産機能が低下してきた。
- 過疎というのは、このように地域の人口が減ることで、その地域で暮らす人の生活水準や生産機能の維持が難しくなってくる状態を言い、過疎地域自立促進特別措置法に基づく判断基準(人口要件・財政力要件)に該当することとなった地域が「過疎地域」である。
- 全国で唯一過疎地域がなかった神奈川県において、2017年4月に初めて真鶴町が過疎地域指定となった。

数字でみる真鶴(平成27年)

人口

7344人

(平成27年国勢調査)

生まれる方

34人/年

(平成22年国勢調査)

亡くなる方

117人/年

(平成22年国勢調査)

昼間、約3000人が町外に

町外に通勤・通学する方

2884人

(平成22年国勢調査)

地域には色々な人が住んでいます

子ども (15歳未満)

597人

(子ども・子育て支援事業計画平成27年度推計値)

障がいがある方

496人

(第4期福祉計画平成27年度推計値)

介護が必要な方

482人

(第6期介護保険事業計画平成27年度時点)

生活保護を受給している方

1.77%

7世帯のうち1世帯が「子どもがいる世帯」「高齢単身世帯」「高齢夫婦世帯」

世帯



3251世帯

(平成22年国勢調査)



(平成22年国勢調査)

子どもがいる世帯

554

全体の7割が核家族
全体の1割が一人親世帯

高齢単身世帯

463

高齢夫婦世帯

469

真鶴町の介護認定状況

区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
要支援1	56名	63名	47名	76名
要支援2	48名	52名	62名	44名
合計	104名	115名	109名	120名
要介護1	63名	87名	84名	94名
要介護2	77名	72名	77名	66名
要介護3	58名	56名	65名	68名
要介護4	77名	68名	75名	60名
要介護5	34名	30名	37名	36名
合計	309名	313名	338名	324名
総合計	413名	428名	447名	444名
高齢者人口	2,816名	2,879名	2,932名	2965名
高齢化率	34.8%	36.1%	37.4%	38.7%

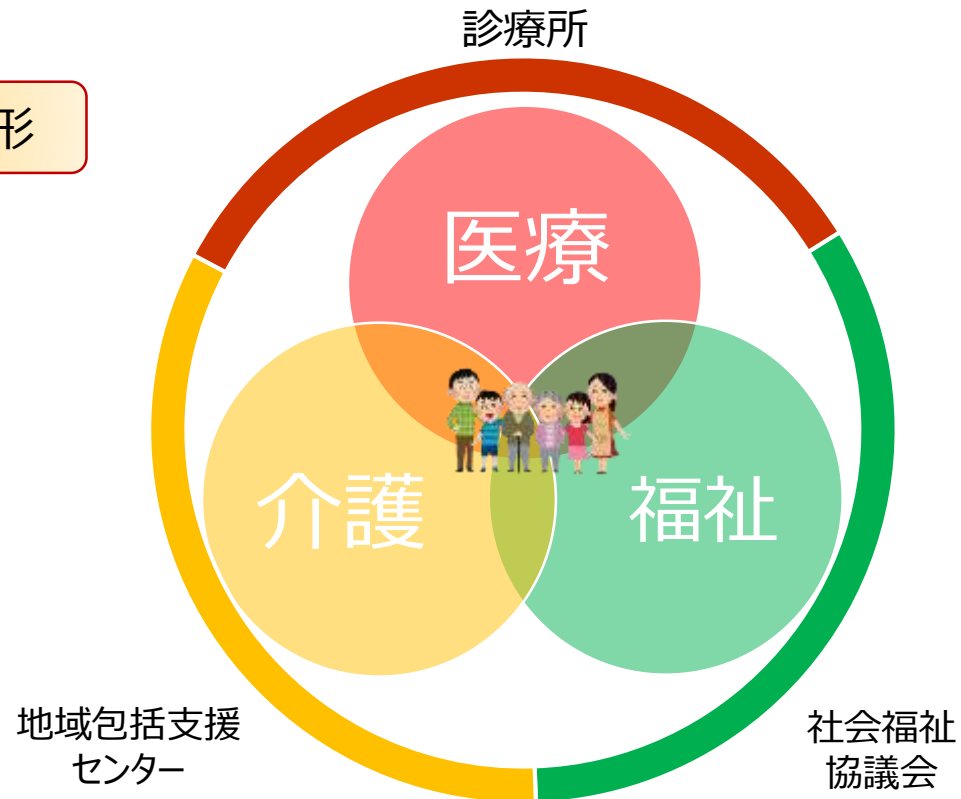
(真鶴町健康福祉課提供資料より)

真鶴町の医療・介護・福祉

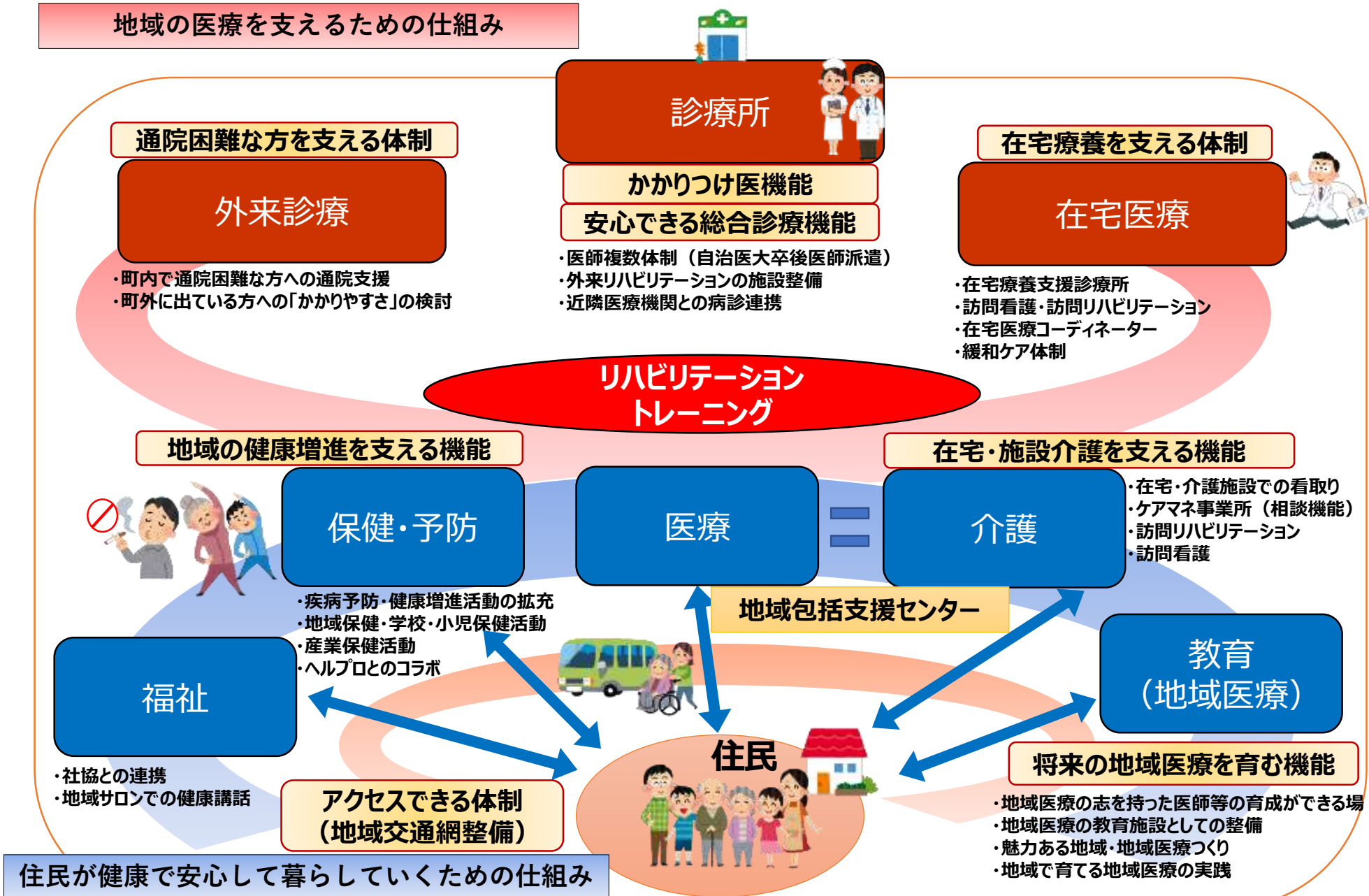
現状



今後求められる形



真鶴町国保診療所 地域医療概念図



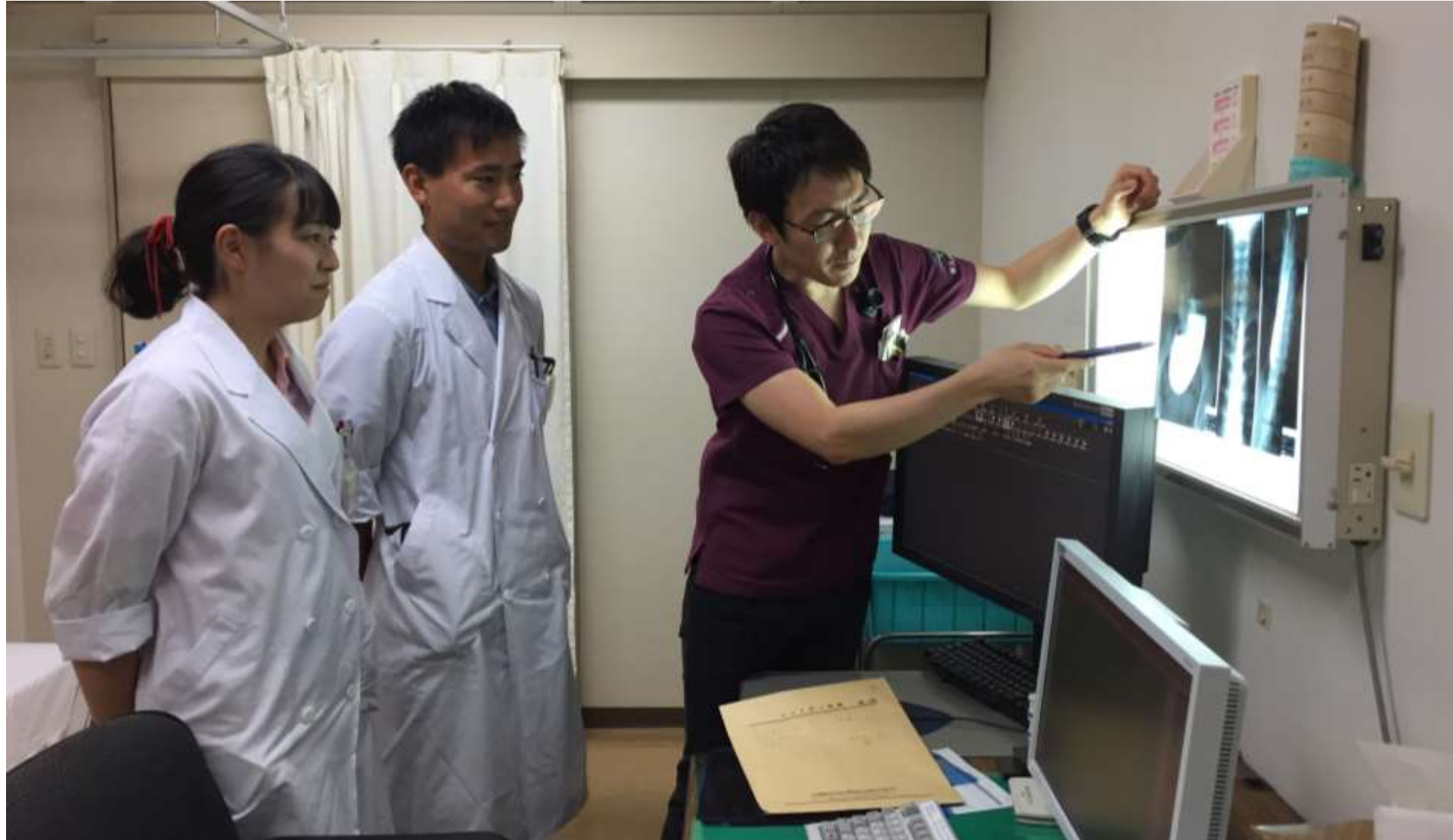
地域福祉計画から見えてきた課題

- かかりつけ医の重要性を感じているが、特に若年齢の層は町外に受診している現状がある
- 国民健康保険加入者の町内の医療機関受診件数は、外来全受診件数の20%に満たない
 - かかりつけ医の意識を普及、啓発
 - 通院支援(坂道が多く、診療所までの足がない人たちへの支援)の導入
- 予防意識が低く、疾患として完成してから医療機関に受診することで入院医療費が高い
 - 健診受診率の向上
- 高齢者は在宅医療の充実を望んでいるが…
 - 実際に在宅医療に切り替えるには、緊急時の対応への不安、家族に負担がかかってしまうことへの罪悪感、医療費がより高額になってしまうことを含めて、多くの不安を抱えていることが多い
 - 在宅医療コーディネーター(病院でいうMSWに当たる存在)導入の検討(ケアマネは介護寄り)
 - 訪問薬剤指導の拡充
 - 主介護者がいない(7世帯に1つが独居)ので、在宅医療が実践できない実情もある

真鶴町国保診療所に期待されていること

- ✓ 外来診療科目や医師の充実(専門科志向が強い)
 - 多少時間がかかっても車で行ける範囲ならば、専門科の揃っている他病院にかかることができてしまう意識を変える
 - かかりつけとして選ばれるような努力をより一層していく
- ✓ 休日・夜間等の緊急時の受け入れ
 - 働く世代が仕事のため日中に病院にかかりにくい、小児の急病時への不安感を持っている
- ✓ 近隣市町との連携
- ✓ 在宅医療の充実
- ✓ 健康診断やがん検診の充実
- ✓ 訪問看護の導入
- ✓ 診療所の建物や設備の充実
- ✓ 送迎

通常診療(42期浅松・中原が院外BSL中)



訪問診療(夏季研修で、42期中原が帯同)



健康福祉大会(なんでも健康相談中)





富士山

箱根の外輪山

湯河原町

小田原市

福浦港・福浦海岸

岩大橋・岩海岸

真鶴港

三ツ石

真鶴半島(魚付き保安林・御林)

真鶴岬

湯河原の山側から真鶴半島全体を望む



真鶴港から真鶴町を望む



真鶴の地形～坂の町～

- 真鶴半島は、根元が箱根外輪山で海拔700mの高さで、この外輪山から相模湾に向かって溶岩が流れ出し、真鶴岬が相模湾に突き出すように形成された。
- 丘陵に囲まれて谷筋や海に向かうややなだらかな斜面(平均傾斜10度)に作られた町の集落は漁港を包み込むようにして成り立っている。
- 町の構造も坂の多い街という特性を巧みに使ってできており、海に向かって雛壇状に建物が建ち、等高線に沿った道は海を見ながら円弧状に配置されている。

真鶴町まちづくり条例

- 1994年に全国でも先駆的に、今後の真鶴町の発展の方向性を「美の基準」というユニークな手法で示した。
- イギリスのチャールズ皇太子が著した「英国の未来像-建築に関する考察」の美の10原則、クリストファー・アレグザンダー著した「パタンランゲージ-環境設計の手法」を参考にして作成された。
- 美の基準は、真鶴町の住民が昔から受け継いできた「生活が息づくための作法」を謳っている。

美の基準 8原則

私たちは、**場所**を尊重することにより、その歴史、文化、風土や町を建築の各部に**格づけ**し、それらの各部の**尺度**のつながりを持って青い海、輝く森といった自然、美しい建物の部分の共演による**調和**の創造を図る。

それらは真鶴町の大地、生活が生み出す**材料**に育まれ、**装飾と芸術**という、人々に深い慈愛や楽しみをもたらす真鶴町独自の質に支えられ、町共通の誇りとしてコミュニティを守り育てるための権利、義務、自由を生きづかせる。これらの全体は真鶴町の人々、町並、自然の美しい**眺め**に抱擁されるであろう。

真鶴半島

真鶴港



真鶴半島・魚(うお)つき保安林

- ・江戸時代に度重なる大火で、幕府は火災後の復興のために、財木資材の確保を迫られ、小田原藩は真鶴半島に15万本の松苗を植林した。成長を続け、クロマツ、クスノキ、スダジイ等の巨木が生い茂る森となった。
- ・昭和35年に真鶴半島全体が県立自然公園の指定を受け、その一部が「魚つき保安林」として保護された。真鶴半島の保安林は海に影を落として魚の隠れ場を作り、木々の枝葉から落ちる虫で魚を集める。森から滲み出た地下水が魚にとって栄養豊富な餌となるプランクトンを育てることで、豊かな漁場を形成している。
- ・皇室御料林であったことから、真鶴の人々からは「御林」と呼ばれて大切に守られてきた。平成21年には、真鶴半島の照葉樹林として、神奈川県天然記念物に指定されている。



真鶴岬・三ツ石

- 真鶴岬の先端からは、相模湾の大海原が広がり、初島、大島、利島、式根島、伊豆半島、房総半島、三浦半島まで見渡すことができる。
- 真鶴半島先端の景勝地三ツ石は、相模湾を背景に巨岩の姿が美しい眺めを形作っている真鶴町の聖地である。初日の出スポットとしても知られており、三ツ石にかけている注連縄の間からのご来光を拝むことのできる番場浦海岸は例年元旦には賑わう。



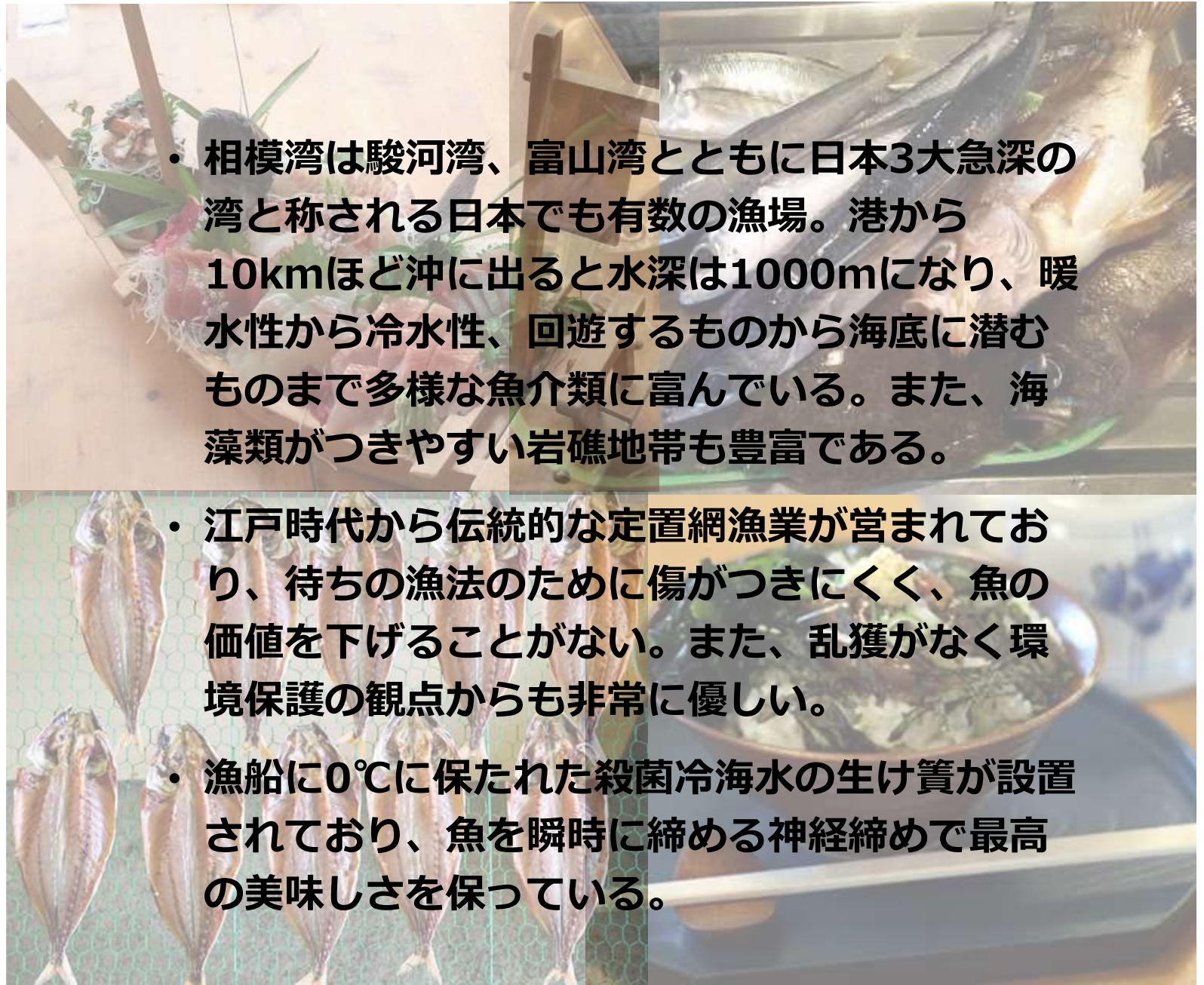
真鶴のすかなは なぜ 美味しいの？

真鶴



- 相模湾は駿河湾、富山湾とともに日本3大急深の湾と称される日本でも有数の漁場。港から10kmほど沖に出ると水深は1000mになり、暖水性から冷水性、回遊するものから海底に潜むものまで多様な魚介類に富んでいる。また、海藻類が付きやすい岩礁地帯も豊富である。

- 江戸時代から伝統的な定置網漁業が営まれており、待ちの漁法のために傷が付きにくく、魚の価値を下げることはない。また、乱獲がなく環境保護の観点からも非常に優しい。
- 漁船に0℃に保たれた殺菌冷海水の生け簀が設置されており、魚を瞬時に締める神経締めで最高の美味しさを保っている。



小松石(こまついし)

- 火山の外輪山の溶岩流が地表に流れ出し、急速に固まったものが安山岩で、真鶴の山側で採石されるのが本小松石、海側で採石されるのが新小松石である。
- 本小松石産地の歴史は奈良時代にまで遡るが、最も石材産地として有名になったのは、江戸時代に幕府が真鶴に丁場を開かせて、石材を江戸に供給することになってから。それ以降、東京の建築物や墓石に数多く使われることで、石材の中では東の横綱とも称され、銘石となっていた。
- 石質が耐久性・耐火性に優れていることから、現在は主に墓石(天皇御陵にも使われている)、装飾石、建築材料として、使われている高級石となっている。







真鶴港に入水する神輿

108段の階段を登って奉納されていく神輿



貴船神社・貴船まつり

- 貴船神社の歴史は889年にまで遡り、番場浦海岸近くに漂着した小仏像を祀り上げ、この地に幸福をもたらす村の鎮守の神としてお祀りしたのが始まりとされている。
- 真鶴の人々は生活基盤を漁業・石材採掘業・石材回漕業といった危険の多い仕事においていた。日常の労苦が、団結力や尊い信仰心を高めて、これらを通して貴船神社をお祀りしてきたとされている。
- 毎年7月27～28日に執り行われる貴船まつりは、豊漁、無病息災を祈願する真鶴伝統の海の祭礼で、日本三大船祭り(他は大阪天満宮の天神祭、広島厳島神社の管弦祭)の1つとなっており、昭和51年に神奈川県指定無形民俗文化財に、平成8年に国指定重要無形民俗文化財に指定されている。



家族で、真鶴岬の先端へ



真鶴町で地域医療を！



JADECOM

Japan Association for
Development of Community Medicine



公益社団法人
地域医療振興協会(JADECOM)
真鶴町国保診療所

〒259-0201
神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴475-1
TEL : 0465-68-2191
FAX : 0465-68-2192